

難治性創傷の治療に、V.A.C.ゲラニューフォームキット シンプルEX 及び V.A.C.ホイトフォームを使用しての医療者側の満足度調査

①対象

2014年12月31日までの期間で、保険適応に沿った、既存治療に奏功しない、或いは奏功しないと考えられる難治性創傷に対して、V.A.C.ゲラニューフォームキット シンプルEX 及び V.A.C.ホイトフォームを治療に用いた医師（最大10例）

②研究機関名

代表施設：大阪大学医学部附属病院形成外科（責任者：久保盾貴）

③目的

難治性創傷に対して、V.A.C.ゲラニューフォームキット シンプルEX 及び V.A.C.ホイトフォームを使用することにより、処置時間の短縮や、利便性の増加などによる、医療者側（医師）の満足度を調査する。

④方法

既存治療に奏功しない、或いは奏功しないと考えられる難治性創傷の症例が出現した場合、保険適応に沿い V.A.C.ゲラニューフォームキット シンプルEX あるいは V.A.C.ホイトフォームを使用する。そして、それを使用した医師の満足度を評価する。

⑤意義

V.A.C.治療システムが保険適応の承認を受け4年が経過した。現在、形成外科領域での使用が多いが、救命救急科、消化器外科、心臓血管外科など他の領域にも広がりつつある。今回のデータは、初めて使用するスタッフへの有益な情報と成り得ると考えられる。また、今回のデータはより良い商品の新開発にもつながると考える。

⑥個人情報の扱い

「連結可能匿名化」を行い、個人情報を保護する。研究対象者のデータや検体から氏名等の個人情報を削り、代わりに新しく符号又は番号をつけて匿名化を行う研究対象者とこの符号（番号）を結びつける対応表は外部に漏れないように厳重に保管する。また、この研究により得られたデータを、研究以外の目的で使用することはない。

⑦問い合わせ先

研究責任医師： 形成外科 講師 久保 盾貴

連絡先： 大阪大学医学部附属病院

06-6879-5530